

大月市の財務状況把握の結果概要

診断結果（償還確実性）

令和3年度

債務償還能力（①、②、③）

資金繰り状況（③、④）

| 指標 | ① | ② | ③ | ④ |
|--------|---|--|--|---|
| | 実質債務月収倍率 $\left(\frac{\text{実質債務}^{\ast 1}}{\text{行政経常収入} \div 12}\right)$ | 債務償還可能年数 $\left(\frac{\text{実質債務}^{\ast 1}}{\text{行政経常収支}^{\ast 2}}\right)$ | 行政経常収支率 $\left(\frac{\text{行政経常収支}^{\ast 2}}{\text{行政経常収入}}\right)$ | 積立金等月収倍率 $\left(\frac{\text{積立金等残高}^{\ast 3}}{\text{行政経常収入} \div 12}\right)$ |
| 留意事項なし | 10.9か月 | 6.1年 | 14.9% | 5.1か月 |
| やや留意 | 18.0か月未満 | 15.0年未満 | 10.0%以上 | 3.0か月以上 |
| | 18.0か月以上 | 15.0年以上 | 10.0%未満 | 3.0か月未満 |
| 留意 | 24.0か月未満 | | 0.0%超 | 1.0か月以上 |
| | 24.0か月以上 | | 0.0%以下 | 1.0か月未満 |

債務系統

収支系統

積立系統

〔財務上の留意点〕

債務高水準

収支低水準

積立低水準

〔診断基準〕
（市区町村）

- (1) ①が24か月以上
または
(2) ①が18か月以上、
かつ、②が15年以上

- (1) ③が0%以下
または
(2) ③が10%未満、
かつ、②が15年以上

- (1) ④が1か月未満
または
(2) ④が3か月未満、
かつ、③が10%未満

該当せず

該当せず

該当せず

〔診断結果〕

債務償還能力

➡ 留意すべき状況にない

資金繰り状況

➡ 留意すべき状況にない

- ※1 実質債務＝地方債現在高＋有利子負債相当額－積立金等
有利子負債相当額＝債務負担行為支出予定額＋公営企業会計等資金不足額等
※2 行政経常収支＝行政経常収入－行政経常支出
※3 積立金等残高＝歳計現金＋財政調整基金＋減債基金＋その他特定目的基金

令和9年度の見通し（令和3年度との比較）

| 実質債務 | | | 行政経常収支 | |
|--------|----------|--------|--------|--------|
| 減少 | | | 減少 | |
| 地方債現在高 | 有利子負債相当額 | 積立金等残高 | 行政経常収入 | 行政経常支出 |
| 減少 | 横ばい | 減少 | 減少 | 減少 |